



うたづ議会だより

2013

第47号

8.1



Contents

平成25年第2回定例会	②～③
議長・副議長就任ごあいさつ	③
一般質問	④～⑦

議会報告会・日曜議会	⑧
視察研修報告	⑨～⑪
元気ななかま・主な議会活動	⑫

平成25年 第2回定例会



平成25年第2回定例会は6月7日から6月12日まで開催し、議案2件、報告3件を審議し、全て原案を可決しました。また一般質問は恒例の日曜議会とし、6月9日に行われ、今年は7月のイベント「アロハナイト」を応援するため、出席者はアロハシャツを着用し、議論を交わしました。

主な内容

平成24年度宇多津町一般会計繰越について
(約5億8千万円)

・まちづくり交付金

町民体育館

「今市の家」改修(旧栗井・藤川邸)

※詳しくは9ページ

・町道海岸線舗装修繕事業

・宇多津幼稚園改修工事

・宇多津駅バリアフリー事業(エレベーター設置)

全会一致で可決

平成24年度宇多津町下水道会計繰越について
(約7千万円)

・川東雨水ポンプ場長寿命化工事

・坂下西浸水対策工事

・大東川浄化センター機械修繕

全会一致で可決

平成24年度宇多津町水道会計予算繰越について
(約3千万円)

・県と合同施工の中部・綾川連絡線(新大東川箇所)老朽管取替工事が工期延長になったため

全会一致で可決

平成25年度宇多津町一般会計補正予算
(約3千万円)

・庁舎耐震基本設計委託

・合併浄化槽補助金

・宇多津北小学校の床張替工事

全会一致で可決

平成25年度宇多津町水道会計補正予算
(約1千万円)

・大東川の川底に配水管埋設

全会一致で可決

青木 義勝 議長



町民の皆様におかれましては、日頃より議会活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。去る4月末に後期の議会人事改選があり、新たな正・副議長と各常任委員長、委員会の人事が決定し、新たな出発をしました。

私も議長という大役を仰せつかり、もとより力はございませんが、力一杯頑張っていく決意であります。昨今の社会情勢は、少子高齢化とともに人口減少という新たな問題の背景の中、わが町も「まちの活性化」や「住民福祉の向上」など引き続き問題解決が求められております。これらの課題解決に全力で取り組むとともに、議会改革においても正・副議長の立候補制、委員会質疑の充実など、住民の皆様方のご意見を頂きながら議論を深め、住民目線に立った、更なる議会改革を進めてまいります。

柴村 賢三 副議長



この度、副議長の要職に就任させていただきましたことは、大変感謝いたしており、その責任の重大さを痛感しているところであります。

少子高齢化が進むなか、さらなる議会改革の推進と町の活性化を図り、住民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを着実に進めるとともに執行機関とは「是々非々」の精神で真剣に議論し、実現させることです。

議長のご指導とご助言をいただきながら議長を中心として、先輩、同僚議員とが丸となつて議会が公正かつ円滑に運営されるよう誠心誠意努力して職責を全うする覚悟であります。

今後も宇多津町発展のため、一つ一つ積極的に取り組んで行く所存です。

どうかこれからも皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

主な委員会構成

◎委員長
○副委員長

総務民生委員会

◎濱中 保夫
○西本 祐子
宮本 隆
青木 義勝
藍川佳津樹

建設教育委員会

◎柴村 賢三
○井原 猛雄
大松喜次郎
池田 弘昌

議会運営委員会

◎西本 祐子
○井原 猛雄
濱中 保夫
宮本 隆
大松喜次郎

本会議 議員の賛否

○、賛成 ×、反対 欠、欠席（議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する）

主な審議案件	西本	濱中	柴村	宮本	大松	池田	青木	藍川	井原
平成24年度宇多津町一般会計繰越	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成24年度宇多津町下水道会計繰越	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成24年度宇多津町水道会計予算繰越	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成25年度宇多津町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成25年度宇多津町水道会計補正予算	○	○	○	○	○	○	—	○	○

新都市の活性化について



濱中保夫 議員

Q

町の発展は町の賑わいと人口増加。町家とおひなさんの舞台である古街は賑わっている。一方、新都市では劇的に集客が増えるとは思えない。ある企業が活性化の提案を持参。その事業を積極的に取り上げるのは可能か。

A

谷川町長

新都市の活性化には、さまざまな可能性を検討する必要がある。まずは周辺の企業を中心に協議会を立ちあげ連携を深めることが重要である。町では、臨海公園周辺の新規施設の誘致や、既存施設再生を絡めた集客力のある施設を面的に計画するプロジェクトを進めるため、協議会の設立に積極的に取り組みたい。そして周辺の企業が連携を取り合う中で生じる相乗効果を期待したい。

Q

PM2.5について

この春、黄砂と共にPM2.5が飛来し、新聞紙上を賑わせた。環境省の注意喚起の1日平均値が70 μ g/m³を超えた場合、宇多津町では子供たちにどのようなガイドラインを設ける事が可能か。

A

藤原住民生活課長

環境省の指針は70 μ g/m³を超えたときとなっているが、香川県での注意喚起の基準は、県内に設置している8か所の測定所のいずれか1か所において午前5時・6時・7時の1時間の平均値が85 μ g/m³を超えた場合になっている。PM2.5の健康影響は個人差が大きいと考えられているため、具体的に町において、幼児・児童等に対する指針となる値を定めることは非常に困難であると考えている。したがって、町においては県の注意喚起情報により対応したいと考えている。

Q

少子高齢化、核家族化の進行にともない高齢者のみの居住が増加し、将来的にも空き家が増える。

「空き家対策」同居者に補助的支援を求める



柴村賢三 議員

「空き家」の適正管理が各地方でも大きな問題になっており、破損・倒壊の危険性・まちの景観・犯罪の温床にも繋がる可能性がある。

また、近隣とのトラブルも年々増えている。

町の活性化・環境整備にも支障が生じており、将来「空き家にならない」ための方策として、2世帯・3世帯への環境づくりとして、同居者支援策を求める。

A

谷川町長

他の自治体を見ると、支援として一般的に移住に対し補助金を交付している場合が多い。また、3世帯で同居をすれば補助金を交付している自治体もあることは承知している。まずは、少子高齢化対策としての施策も踏まえ、実施自治体の状況を調査・研究する必要があると考えている。



草木が生い茂る空き家

小中学校の土曜日授業 実施は

Q 小中学校で土曜日授業を実施する学校が、全国で増加傾向にある。

実施状況は、各自治体で授業内容や時期及び回数などは様々である。

宇多津町は土曜日授業を実施するのか。または、長期休業期間の短縮を実施するのか。

A 亀井教育次長

町では昨年度、中学3年生全員を対象に長期休業期間中の12日間、1日4時間の補充学習と9月から1月の平日放課後に50分間の補充学習を計32回行った。小学校でも平日の放課後や夏休みの期間を利用し、必要とする児童を対象に補充学習を実施した。現時点では土曜日授業や長期休業期間の短縮ではなく、平日の放課後や長期休業期間を利用し、補充学習等の拡充を図るほうが良いと考えている。

Q 町内の公園設置に偏りがあるのでは

町内には多くの公園があるが、旧町内と新都市・大橋地区に集中している。

南部地区も新しい住居地域が増加し、子供が増えている。

大門・田町・長縄手から南部地区に公園が必要では。

A 北本事業統括監

町内の公園は、コミュニティ会館前の空き地利用や大規模な宅地開発、町営住宅跡地、ため池の埋め立てによってつくられたものが多い。これらの経緯でできた公園が南部地区には1つしかない。ただ、南部地区全体では公園の数は少なく見えるが、津の郷地区の九頭龍神社の北側に児童公園、県営住宅に団地内公園、鍋谷地区にコミュニティ広場などが各地区にある。十分でないかもしれないが、子どもたちが遊ぶ場所はあると思う。そのため、現段階では新しい公園を設置することは考えていない。



宮本 隆 議員

空き家対策に社会資本 整備交付金の利用を

Q 空き家バンクは物件をどの地区、どんな手段で探しているのか。空き家の実態把握や除去や再生に、社会資本整備総合交付金の支援が可能であるが、利用できないか。また、対策に各関係課の連携と一本化が有効と思うが。

A 北本事業統括監

社会資本整備総合交付金の利用は可能である。この活用は、これから検討を進めていきたい。連携については、その案件ごとに各課が連携していけばよいと考えている。窓口を一つにすればそれだけのための人員が必要になる。

A 松井政策調整室長

空き家情報は、町から空き家所有者を確認することが個人情報等の関係もあり難いため広報やホームページ上の掲載、公共施設へのパンフレット設置などで制度の説明および登録者募集をしている。今後は個々に自治会長等、地元の方からも情報を得ながら進めたいと思う。

Q 小中学校にも災害備蓄を

巨大地震の被害想定が拡大し、3日分の備蓄では不足する。町の緊急物資マニュアルをいつ変更するのか。

地震発生が親の不在時や、中央に川があることを考えると、学校に備蓄が必要ではないか。

A 中村危機管理課長

県において、夏頃までに人的、建物被害等を取りまとめた第二次報告書が公表される予定である。その中で町に関わる避難者数なども公表される。県の地域防災計画の見直しや備蓄マニュアルも改定されると予想されるため、県と歩調を合せて改定していきたい。備蓄物資は現在、庁舎南側の防災資材倉庫に集中しているが、分散備蓄も大きな課題と認識している。今後、地域防災計画や防災マップなど各般にわたる災害に備える準備を行う中で「災害備蓄」についても鋭意見直すことになるのではないかと考えている。



大松喜次郎 議員

懸案の鴨田川改修の 現状について

Q 鴨田川の改修がやっと始まり、浦町の若宮橋の基礎

工事が目に見えるようになってきた。関係者の今までの努力に感謝したい。工事に伴い工事用の町道が新設されることになっているがどうなっているのか。

A 北本事業統括監

昨年4月に地権者の方々に鴨田川関連の工事用の道路整備について説明したところ、反対意見もなく、昨年9月に補正予算を計上し、用地交渉を始めた。しかし、一部の地権者からの申し出により用地境界の見直しが生じ、まだ解決していない状況である。予算は今年度に繰り越しており年度内に解決できればと考えている。そのため工事用の道路は当面既存の町道を利用するしかないが、改修等をしながらか対応していきたい。

Q ふるさと納税について



池田弘昌 議員

全国的にふるさと納税をしてくれた人に町で取れた特産品を送り、納税者に感謝を表しているところもある。宇多津町でも納税をしてくれた人に町の特産品を送る検討をしているかどうか。

A 谷川事務統括監

現在、寄付をいただいた方には礼状とともに税の優遇措置のあらましを記載したチラシを送付している。今後は一定の金額以上の寄付をいただいた方には宇多津町の特産品をお礼の気持ちとして送りたいと考えている。一定の金額は3万円以上を考えているが、様々な意見を聞きながら検討をしていきたい。

教育委員の選任

Q 教育委員に1名の欠員がでた。長期の空白は制度の

意義を希薄にしかねない。また教育界の委員が不在では県下教育界の人脈、情報に疎くなり、町の教育環境への影響が危惧される。教育界からの選任を急ぐべきではないか。

A 谷川町長

今年3月31日に教育委員に欠員が出て以降、新たな委員は選任していない。現在教育委員会は4人の教育委員で構成しているが、一致団結して業務を行っていたにいたる。いずれ委員選任の際には、議会に提案する時期があるのでご理解いただきたい。

Q 職員の労務管理について



藍川佳津樹 議員

昨年来、議員の立場で組織、人事等に意見を述べた。課長の兼職、耳にした。再度申し上げるが、身の丈に不似合いな組織、職員の業務の偏重など、労務管理に問題はないか。

A 谷川町長

課長職は現在2人の課長が兼務しており、1人の課長には水道課・建設課、もう1人の課長には危機管理課・産業振興課の兼務である。いずれの課においても住民の期待に応えた事業が進められていると考えている。また、当該職員も課長を中心に業務を遂行していると感じている。

コンパクトな宇多津の 夢ロマンについて

Q 新議員未来態勢執行。副議長、委員長役儀の構成人

事で新議員当選 町政の躍進に期待。井原議員の指導態勢。宇多津は合併の歴史無く、瀬戸大橋で新都市に転換。国から250億円と優良企業幹旋、坂出とごみ・し尿の広域行政を起し番の州で20万㎡の獲得、綾川から流域下水道設置。谷川町政は自主財源心に勝り次の通り執行。学校にエアコン設置、小三まで医療費無料化、耐震と学校教室増設、ごみ袋40%減額、人口増加、未来の町の展望を質した

A 谷川町長

毎年、町では平成相聞歌を募集する事業に取り組んでいる。これは宇多津を恋の歌で全国に発信しようという試みであり、今後継続し町の知名度を高めていきたい。万葉ロマン・恋の町、宇多津を形成できれば幸いである。いじめのない町については、いじめ防止条例の研究・検討に着手しており、今年度に条例案を議会に提出できるよう努めている。



井原猛雄 議員

空き家の活用で、 学生に貸せないか

Q 空き家バンクが始まったが、まだ貸家の登録がないと聞く。横須賀市が行っている、学生にシェアハウスとして安く貸し、その代わりに高齢者世帯の安否確認をもらう事例は、本町でも採用できないか。

A 松井政策調整室長

横須賀市でのシェアハウスの活用事例は試験的に行っているようである。内容は高齢者が多い地区で一般の空き家住宅を改修し、学生サークルの地域ボランティアの方がシェアハウスとして利用し、周辺地区の高齢者の安否確認を条件として市が家賃の一部を補助している。特に当町の古街では今後高齢者世帯が増えていくと予想されるため、空き家対策のひとつとして、今後の課題としたい。

Q アロハナイトのポスターが目立たない

今年も7月にアロハナイトが行われる。そのPRのため日曜議会ではアロハシャツを着用したが、ポスターが目立たない。振興財団が主催とはいえ、担当課でもっと協力できないか。

A 中村産業振興課長

宇多津アロハナイト2013は宇多津町振興財団の自主事業で実施しており、チラシの作成についても同様である。町としては、議員指摘の趣旨を宇多津町振興財団に十分伝えると同時に、全力で協力したいと考えているのでご理解いただきたい。



西本祐子 議員



アロハナイトのパンフレット

第6回議会報告会

5月15日（水）午後7時から保健センター4階において、第6回議会報告会を開催しました。報告会は常任委員長及び各委員が主要施策、一般会計・事業会計・特別会計を説明し、その後フリートークで参加者より質問・意見・要望などがありました。

報告

総務民生常任委員会

- ・平成25年度一般会計予算
- ・国民健康保険特別会計の



年次推移

- ・介護保険特別会計の年次推移
- ・財政状況
- ・J R 予讃線宇多津駅バリ

- ・アフリー化設備等整備事業
- ・太陽光発電補助金制度

建設教育常任委員会

- ・平成25年度水道事業会計
- ・平成25年度教育費予算
- ・今年度上下水道の主な工事予定
- ・保育所・小中学校改修等

- ・社会資本整備総合交付金事業（まちづくり交付金）
- ・庁舎の耐震計画

質問・意見等

- ・山下から田町までの町道の改修計画はあるのか
- ・国民健康保険や介護保険の滞納者に対して督促はしているのか



- ・大橋から新都市までの側道について
- ・公債費について
- ・社会資本整備総合交付金事業について
- ・出席者少ないのもっと広報活動を
- ・今後の町の借金などが大変気になる
- ・宇多津駅のエレベーターは非常に助かる
- ・町の財政状況を他の自治体と比較して欲しい
- ・報告会の進行・内容・雰囲気

日曜議会

今年の、恒例の日曜議会、そして初の「アロハ議会」として開催しました。川崎市、指宿市などでも行われている「アロハ議会」では、議員も職員もアロハシャツを着用します。今回はクールビズの一環として、また7月のイベント「アロハナイト」をPRするために取り入れました。テレビや新聞の取材も多く、香川県初の試みに議会の注目度が上がりました。

傍聴者は33名、傍聴者には議会からフラワー・レイをプレゼントしました。

宇多津町議会は、議会基本条例、議会改革で全国的にも注目されているのですが、残念ながら町民の関心度は低いのが現状です。今後も町民に関心を持っていただけるよう、努力してまいります。

意見あれこれ

・質問は身近なことを取り上げていてわかりやすい

・町側の回答は、積極的ではない（言い訳が多い）

・全員の質問を聴くのに1日かかるので、2日に分けてほしい

・「アロハ議会」は親しみが持てる

・アナログ人間にもわかりやすい広報活動をお願いしたい

・広報車の広報活動は良い

・町の将来の見通しが見えない

視察研修報告

徳島県
三好市東祖谷

〈空き古民家再生（宿泊施設）〉

5月31日に、町で民家改修される「今市の家」の参考事例として、東祖谷の落合集落と東祖谷の釣井で、改修物件の視察研修をしました。現地では、監修者のアレックス氏、前副市長の井澤氏、市役所の職員から説明を受けました。

落合集落

近年過疎高齢化の影響により人口の減少が著しく、古民家は空き家に、石積み段畑は耕作放棄により森林化していき独特な山岳集落の景観の維持が困難な状況になってきています。そこで、これらを活用した新たな滞在体験型の歴史観光コミュニケーションを構築・実践を通じて、地域の活性化と文化の継承、山岳集落の維持再生を目指しています。

現在までの取り組み状況は、平成20・21年度の2カ年にわたり、空き古民家の調査・伝統文化や郷土料理の調査を研究し、平成23年度に「空き家再生等推進事業」を活用し、滞在型観光施設3棟（浮生、晴耕、雨読）を整備しました。



した。20年間無料で借りています。24年度平均稼働率は40%で、地域別利用者比率は関東関西四国で84%を占めています。海外も増えています。宿泊料は結構高い。平成27年度までに落合地区内に同様の施設5棟を順次整備し、合計8棟での運営を目指しているようです。

最初に茅葺民家ステイ施設「浮生」を訪れました。集落の一番上に位置して、景観は良好。66㎡で外壁は伝統的な「ひしやぎ竹」張りとし、床暖房や風呂、トイレ、水回りを最新の物にしています。次に主屋・隠居屋と2棟隣り合わせ



古民家から見た絶景

せに建つ「晴耕」82㎡「雨読」58㎡を訪れました。内部の設備は「浮生」とほぼ同じですが、車で直接行けるのが良い点でした。

釣井の「ちいおり」

昭和46年大学生であったアレックス氏が祖谷に始めて来て、日本の山里の美しさに感動し、その後も幾度か訪れたのこと。そして、築30余年の茅葺古民家を購入しました。現在は、一棟まるごと貸し切り宿泊としています。また、自炊することが出来ます。板張りの床、囲炉裏がありますが、風呂等の設備は近代的です。冬は給水管の凍結等で利用はできません。会社の研修にも使えるのではないかと感じました。

町の空き家再生の取り組み

「今市の家」の改修工事が8月から来年2月にかけて行われます。この改修工事は、町の歴史的な背景を保全していくために、町が保持する空き家となった明治後期の建築である旧栗井邸（132㎡）と旧藤川邸（136㎡）を再生利活用します。そして、古街全体の活性化や面としての発展に期待するものです。

旧民家をステイ宿泊施設とギャラリーに再生利用することになっています。そして、今後はオープンとしてのいろいろな体験型宿泊を考えていくようです。

入札の結果、建設費は6860万円（税込）です。その内、社会资本整備総合交付金2740万円、地域の元氣臨時交付金2880万円、町の負担は1240万円となります。殆んど交付金で賄えることとなりました。



今市の家（栗井・藤川邸）

視察研修報告

福岡県上毛町
こうけまち

視察研修報告

福岡県川崎町
かわさきまち

上毛町は福岡県の東端に位置し、面積62・4^{km}、人口8千人あまりの町です。町の面積の半分以上が森林で、生活面においては東隣りの大分県中津市を中心とする生活圏を共有しています。定住促進のための「住みたい上毛町研究会」を開催し、体験プログラムを企画。農家民泊モニター2012には、約25名が参加しました。また、



「お試し居住事業」は都市部のクリエイターなどに、1か月程度空き家に住んでもらうプロジェクト。住む人の家賃は1ヶ月500円と格安ですが、貸主には町から1か月5万円を支払います。あくまで、田舎暮らしを体験してもらうことが目的のため家賃が発生し、貸す方も快く貸してくれるそうです。他に上毛町では三世代同居世帯に補助金を出しています。

1. 学校給食費補助として、学校給食費本人負担の2分の1の補助

2. 家庭内保育補助として、0歳～6歳の幼児を家庭で見ている場合（保育所・幼稚園に通っていない）は幼児1人につき7000円／月

地方の自治体の殆どで、少子高齢化により空き家が増え、定住人口が減っています。今はまだ人口増加をしている本町ですが、10年後、20年後の長期的な視野に立った政策を考える時が来ています。



今回視察に行った川崎町では「通年の会期」に取り組んでいます。

「通年議会」（※注）では町長が、1月に年1回の議会を招集し、議会の議決により会期を1年間に設定します。つまり、議会は1年中開会されています。（正確には1月の召集日から12月末日まで）通年議会のメリットは災害などの緊急を要する場合に、面倒な手続きを踏まずに、すぐに議会の再開ができるので、審議が迅速に行え

ることです。また、会期中に限定されている常任委員会の調査活動などを必要に応じてすぐに行うことができます。

通年議会のさらに進んだものが「通年の会期」で、年度ごとの開催です。会期は4月1日から翌年3月末日までで、本当の意味で議会は一年中開かれています。

※注「通年議会」ってなあに？

現行の地方自治法では、議会の招集権は首長にあり、会期は議会の議決で決めることになっています。緊急の場合には臨時議会の開催、また専決処分のように議会を通さないこともありえます。勿論、災害時などの緊急の場合にやむをえないこともあります。あ、あの阿久根市長の事件（議会を開かず全て専決処分を決めてしまっ）があつてから、全国各地で通年議会を取り入れる議会が増えていきます。

視察研修報告 武雄市

「佐賀県武雄市立図書館」

7月18日（木）武雄市立図書館の視察研修を行いました。

この図書館は「武雄市」と「代官山蔦屋書店」とが平成24年5月4日に基本合意し、市民のための図書館として今年4月にオープンしたものです。

事業主体が武雄市で企画サポートするのがカルチュア・コンビニエンス・クラブ「TSUTAYAグループ」が運営委託された新しい公立図書館の実現として人気を



他市議会と合同で説明を受ける



樋渡啓祐 武雄市長

呼び、旧来の図書館をおしゃれな空間にリニューアルし「市民目線」で開館時間を大幅に延長し、カフェで読書を楽しむことができるという全国的にも注目されている図書館です。

樋渡市長の考える図書館は「市民のための図書館」。行政でできなければ民間の力という柔軟な発想力で実現しました。

他県からも研修者が多く、庁舎玄関前には一週間で23カ所の自治体からの視察研修表示がなされていました。（私たちも和歌山市議会・京丹後市議会との合同研修でした）民間書店との提携により図書館で実現する9つの価値として

1. 20万冊の知に出会える場所（開架10万冊・20万冊へ）
2. 雑誌販売の導入（ライフスタイルの提案）
3. 映画・音楽の充実



樋渡啓祐 武雄市長のレクチャー

4. 文具販売の導入
5. 電子端末を活用した検索サービス（iPad）
6. カフェ・ダイニングの導入（スターバックスの出店）
7. 「代官山蔦屋書店」のノウハウを活用した品揃えやサービスの導入（自動貸出機・分類方・空間など）
8. Tカード・Tポイントの導入（同意・選択制）
9. 365日、朝9時～夜9時までの開館時間

※指定管理者制度によりサービス拡充と行革を実現するといふものです。

リニューアル後、来館者数が6月30日時点で26万人になり、3か



武雄市立図書館内部の様子・壁一面の蔵書は圧巻

月で昨年の1年分の来館者数を上回りました。

また、1日当たりの来館者数は2911人で前年比の38%増、特に、5月4日（土）には過去最高の7108人の来館者がありました。平均図書貸し出し数は1644冊と174%に急伸、図書館の登録者数は2万855人で、うち、Tカードの利用率は94・9%、利用者居住地は市内が45%、市外が55%になっており市外が市内を上回っている現状です。

カフェ「スターバックスコーヒー」では、多くの人が購入した本や購入前の本をコピーを飲みながら読んでいました。

元 気 な ほ か き グ ル ー プ 紹 介



「集いの場 こすもす」

「集いの場 こすもす」は介護予防事業の一環で、高齢者が家に閉じこもるのを予防し地域でのかかわりを持ち、いきいきと生活をする事を目的に、平成19年から毎週金曜日午前10時から11時30分まで、保健センター4階で開催しています。町内の概ね65歳以上の方なら誰でも参加できます。

今回は、中央保育の園児の歌や劇の演技でした。演技の後はおやつと一緒に食べて、高齢者



の方からすると孫のような子供たちと楽しい時間を過ごしました。最初は緊張していた子供たちも、優しいおじいちゃん、おばあちゃん達の間に入り、中にはひざの上に抱っこされた子供もいました。

折り紙、リラックスできる体操、音楽鑑賞等々、また懐かしい映画の上映もあります。行事の後は、お茶を飲みながらの『和みタイム』で隣の人や介護予防サポーターさんたちとゆとりとくつろいで、おしゃべりの輪を広めています。中にはお友達に会えるのを楽しみに来ている方もおられます。今後、ゲーム大会・カラオケ大会など、楽しい行事も予定しています。一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



主な議会活動

7月	6月	
25日	31日	7日
12日	30日	10日
11日	27日	13日
10日	21日	15日
9日	15日	17日
7日	13日	18日
3日	10日	22日
第2回定例会	第6回議会報告会	24日
一般質問	議会運営委員会	25日
総務民生建設教育合同委員会	臨時議員総会	大松杯バレーボール大会総会
建設教育常任委員会	議会運営委員会	議会運営委員会
全員協議会・本会議	臨時議員総会	広報委員会編集会議
広報委員会編集会議	行政視察研修	広報発行町議会連絡協議会
臨時議員総会	行政視察研修（東祖谷）	行政視察研修（武雄市）
		行政視察研修（上毛町）
		行政視察研修（川崎町）
		青少年育成宇多津町民会議
		広報委員会編集会議